

私はヤクルトの疫病神なのか？ 2025

今年もやります

昨年度の現地観戦成績が悪すぎることから、私が観戦していることとヤクルトの敗戦に相関があるのかという興味を持ってはじめた「私はヤクルトの疫病神なのか？」。2025年シーズンもこの検証を試みようと思う。さて、今シーズンのヤクルトスワローズだが、開幕戦サヨナラ負け、第2戦12-0、第3戦3-0という悪夢の3連敗でシーズンインした。オープン戦は全体3位だったにも関わらずだ。今シーズンはゴールド会員になり、現地観戦のNを増やして更に検証の精度を高めてみようと思う。今年度は表形式で観戦試合の予告と信頼区間の狭まりを表現していく。

(04.06)まさかの引き分け vs. 中日

今季初観戦の相手は中日ドラゴンズ。高橋宏斗が先発で勝ち目のない試合と思っていたが、中日の打線が冷え込み、1-1のまま延長に突入。延長でも両チームともにチャンスを作るも押しきれずに引き分けという結果になった。そういえば、私が現地で観戦する試合は高梨が先発であることが多い。当日は気温も冷え込んでおり、延長12回までの観戦は地獄であった。今シーズンの木澤は火消し役として奮闘しており、今シーズン初登板の星が2連続フォアボールで作ったノーアウト1・2塁のピンチを見事に無失点で切り抜けた。高橋宏斗を相手にしての引き分けは勝ちに等しいかもしれない。なお、気温が10℃を下回っても、筋肉限界のオスナ、木澤、松山は半袖であった。

(04.17)ごちゃごちゃ vs. 阪神

この試合は私の呪いがすべて発揮された試合であった。この試合は先発の吉村がQSで勝ちムードを作る→開幕戦で炎上した清水・田口がまたも炎上→佐藤輝明が逆転2ランで2点ビハインド→岩崎炎上→復帰初戦の村上が怪我→代打の赤羽が売った打球を木浪がエラーで同点・延長へ→加入後初登板のバウマンから近本が決勝2ラン→ヤクルト負けという流れだった。佐藤輝明のHR、岩崎炎上、近本HR、ヤクルト負けという呪いフルセットで、どうも阪神戦の現地観戦がヤクルトの敗戦に繋がっている気がしてきた。

(04.30)今季初勝利 vs. DeNA

今季は早々に現地初勝利を手にした。先発山野が球数は多くも6回1失点で試合を作ると、木澤→荘司→石山と最も信頼のおける投手3人のリレーで点数を許さず。打っては山田哲人が6回裏に決勝タイムリーで山野に今季初勝利をプレゼントした。荘司や石山はあわや今季初失点のピンチもあったが、なんとかその場を凌いだ。どうやら山野は山田哲人のタイムリー時にロッカーで着替えていたらしく、そのシーンを見ていないことをヒーローインタビューで明かしていた。主力に怪我が相次ぐヤクルトであるが、復帰するまでになんとか繋いでほしいと願うばかりである。雨よ降ってくれ。

(05.05)こどもの日に完封負け

この日はこどもの日ということで多くの親子連れが観戦に来ていたが、全く点が取れる雰囲気も無く3安打完封負けで盛り上がりどころがなかった。子供たちも退屈してしまい8回途中から帰り始めていた。唯一の盛り上がりは現役ドラフトで広島から移籍してきた加藤（矢崎）が1回を無失点で終えたことだった。

(05.16)数年ぶりに一人で観戦

社会人になってからは1人で試合を観戦したことはなかったが、久しぶりにライトスタンドで思い切り応援したくなりソロ観戦を試してみた。試合結果は負け。試合中盤までは内山や山田哲人の活躍でリードしていたが、木澤や金久保の中継ぎ陣が踏ん張れず、荘司が離脱して抜けた8回の枠に金久保が入ったが完全に役不足でTAと松尾に連続HRを被弾して勝負あり。9回はウィックから無死満塁のチャンスを作るもその後の3人が一点も取れずゲームセット。中継ぎ不足が深刻である。

(06.18)クライマックスの可能性がなくなる vs. 楽天

週1回のペースでしか勝てなくなったヤクルト。この統計検証の良いところは信頼区間から球団のクライマックス進出の判断が早期に行えるところである。この時点でヤクルト勝率の95%上限は.445なので、通常.500必要なCSの進出は無くなったと言える。さて、何を目的に今季のヤクルトを見ようか。

(06.21)灼熱の神宮 vs. オリックス

この日の神宮は晴天。自分が目視しただけでも熱中症で運ばれた人が2名という灼熱の神宮で久しぶりの勝利を収めた。最終回は大西が無死満塁を作り降板、結局クローザーの石山が1失点で抑えて逃げ切った。オリックスは先発の宮城が1回から大量失点してしまったのが大きかった。これでオリックスは交流戦優勝争いから脱落した。

(06.27)とことんついてない vs. 阪神

交流戦明けの初戦。この日はゲリラ豪雨と田口投手の怪我により試合が遅れに遅れて21:30の時点で9回ウラ。私はこの後に用事があったためにこの時点で会場を去った。すると、その回に内山壮真のヒットでヤクルトがサヨナラ勝ちをしていた（あれをエラーとするには高寺に厳しい話）。何に喜びを見いだせばよいかわからない今年のヤクルトであるが、そんなヤクルトの貴重なサヨナラ勝ちの機会を見事に見逃してしまった。

(08.02)8連勝後の3連敗 vs. 阪神

ヤクルトがあまりにも負けるので、観戦を自粛していた7月。ヤクルトは8連勝で5位の広島と5ゲーム差まで来ていた。村上宗隆や長岡秀樹が復帰し、これからというタイミングで1月ぶりに神宮で観戦した。試合は先発の吉村が4HRを喰らい敗戦。阪神の小幡が2HRに加えて好守備を連発。小幡一人に負けた感じである。ヤクルトはロングリリーフの坂口が好投したのが印象的であった。

表 - 1 ヤクルトの戦績と観戦実績の推移

時点	試合	勝	負	勝率	現地勝	現地負	現地勝率	95% 上限	95% 下限	下側 累積確率	疫病神
2024年度	139	62	77	.446	2	8	.200	.533	.362	.240	NO
2025.04.01	0	0	3	.000	0	0	—	.710	.009	NONE	NONE
2025.04.05	7	3	3	.500	0	0	—	.880	.012	NONE	NONE
2025.04.17	13	5	7	.416	0	1	.000	.694	.137	.863	NO
2025.04.30	22	9	12	.428	1	1	.500	.660	.218	.952	NO
2025.05.05	26	10	16	.384	1	2	.333	.594	.202	.894	NO
2025.05.16	33	12	21	.364	1	3	.250	.549	.204	.813	NO
2025.06.18	58	18	40	.310	1	4	.200	.445	.195	PASS	NO
2025.06.21	61	19	42	.311	2	4	.333	.443	.199	PASS	NO
2025.06.27	63	20	43	.317	3	4	.428	.447	.206	PASS	NO
2025.08.02	85	32	53	.376	3	5	.375	.488	.274	PASS	NO

脚注) 標本平均の信頼区間計算は二項分布の信頼区間の計算における Cropper-Pearson 法に基づく。

おまけ：他球団の観戦戦績

(04.05)

最近は阪神戦を見るが増えてきたが、私が見た3試合全てで佐藤輝明がHRを放っており、これで8打点目である。一方、抑えの岩崎は私との相性が非常に悪く、昨シーズンのヤクルト戦でのサヨナラ負けをはじめ、観戦した試合でよく打たれている。また、結構珍しい近本のHRを見ることができた。

(04.17)

ヤクルト戦ではあるが、またもや佐藤輝明と岩崎が活躍した。佐藤輝明はこれで観戦4試合すべてでHRを記録、計10打点となっている。いつもはここに岩崎の失点に加わり、プラスマイナスゼロとなるのだが、近本がプラス要因として加わり阪神が勝っている。これで阪神は現地観戦4連勝。阪神に関しては勝利の呪いを持っているかもしれない。

(05.06)

前日に10-1で巨人を打ちのめした阪神がこの日も巨人を7-1で制した。ただ、試合展開はいつもとは異なり、佐藤輝明は不発で森下は好調。6点差で迎えた最終回にクローザーの岩崎がなぜか登板し、1アウトランナー一塁という状況で強烈な当たりを打たれたが、ショートの小幡がジャンピングキャッチからのダブルプレーでゲームセット。なぜか私の呪いが発揮されない試合であった。私はこの翌日からリアルで39°Cの発熱にうなされるのであった。

(06.04~06.05)

エスコンフィールド自体が楽しく、席に座った時間がほとんどなかったが、4日の試合は地元出身の門別が力負け、5日の試合は細野が初回4四球で自爆、佐藤輝明がシリーズ3HRで無双だった。地元出身の門別

も元日ハムの渡辺諒もこのシリーズを期に2軍落ち，エスコンはディズニーランド的な楽しさがあり，3日では足りないくらいエンタメにあふれている．試合を見ない球場として新しい形をみることができた．エスコンフィールドの欠点はアクセスの悪さであるが，新駅を建設中とのことなので，建設後でもいいので野球ファンに限らず是非行ってみたい．

表-2 他球団の観戦実績

時点	勝	負	場所	備考
2025.04.05	阪神	巨人	東京ドーム	佐藤輝明2HR，岩崎2失点，近本HR
2025.04.17	阪神	ヤク	神宮球場	佐藤輝明2ラン，岩崎2失点，近本決勝HR
2025.05.06	阪神	巨人	東京ドーム	近本2打点，森下3打点1HR，岩崎なぜか登板
2025.06.04	日ハム	阪神	エスコンフィールド	佐藤輝明2HR，門別が地元で4回4失点でK.O.
2025.06.05	阪神	日ハム	エスコンフィールド	佐藤輝明ソロHR，最終打者で渡辺諒が出場
2025.07.20	阪神	巨人	東京ドーム	小幡2打点，岩崎炎上せず